



北九州市保健福祉局  
地域福祉部 地域福祉推進課  
系長博美主任(左)と平田典子係長(右)

## 送迎の実態と事務の状況を 把握するための調査

十一月二十一日(火)午前十時から、「福祉有償運送の実態に係る実地調査」が八幡事業所で行なわれました。北九州市の福祉有償運送を担当する、保健福祉局地域福祉部地域福祉推進課より、平田典子係長と系長博美主任が来所されました。

この実態調査は、毎年この時期に行なわれており、行政と北九州市福祉有償運送運営協議会が各事業所の送迎の実態を把握するための調査です。

今年も八幡事業所で行なわれ、感染症の予防対策をしながら行われました。  
送迎時の事故や

苦情の対応の確認を  
初めに、平田係長と系長主任は「活動報告書及び車両点検表」の確認や、運転ボランティアさんに対する点呼の方法、車両の運転前の点検方法などを確認していただきました。

や自動車登録簿、利用者名簿、利用料金一覧、領収証などの必要書類がきちんと揃っているのかを確認されていました。

転者証や家用旅客運送者登録証、運転協力者修了証の確認、送迎時の車にステッカーが貼っているのかなどを確認されていました。

### 同日開催

北九州市政六〇周年記念ふれあいフェスタ二〇二二  
ふれあいで、笑顔がふくらむ、人権文化のまちづくり  
第十六回 北九州市障害者芸術祭  
みんなの夢が響く瞬間(とき)、輝くところ

十一月十九日(日)にウエルとばた二階交流プラザで『北九州市政六〇周年記念ふれあいフェスタ二〇二二』

## インフルエンザに気を付けよう

福岡県に警報発令中!

インフルエンザの流行が広まっているとして、福岡県は、今シーズン初めての「警報」を発表し、警戒を呼びかけています。

福岡県によりますと、十一月二〇日からの一週間で、県内一九八の医療機関で確認されたインフルエンザの患者数は、前の週のおよそ1.5倍に増えています。

ズンズンで、二〇〇九年十月以来、過去二番目の早さという事です。



感染拡大の影響で、県内の学校や保育所では今シーズンこれまでに、一三〇〇を超える施設で学級閉鎖や休校となっています。



原、貞谷が参加しました。ふれあいフェスタとは、

ステーションイベント、パネル展示や人権・福祉団体によるブースに出展(日常活動の紹介)などを行い、楽しい雰囲気の中で人権の大切さについて考える催しです。

今年も展示ブースでは北九州市障害者団体連絡協議会(以下障団連)の展示コーナーを設け、障害者週間の啓発や、加盟団体のパンフレットやパネル展示などを行ないました。

「さわやか」は、送迎ボランティアの募集のチラシを展示しました。

また、障団連の展示ブースでは障団連の加盟団体の紹介動画が繰り返し上映されました。

そして、ちっちゃな、ほんの少しのボランティア活動を応援するために誕生した北九州市社会福祉協議会のアイドル、プチボザウル

スのプチボ体操やプチ手話教室などを実施し、啓発活動を行いました。



プチボザウルとモモマルくんがコラボ!

プチボ体操の時には、北九州市の人権の約束事運動に取り組んでいるマスコットキャラクターモモマルくんも駆けつけてくれ、一緒に体操をしてくれました。

ウエルとばた階段前では北九州市タクシー協会が、ユニバーサルデザイン(以下UD)

タクシーの試乗体験会を行ないました。



UDタクシーとは、広い開口部にスライドステップを備え、車椅子のまま乗車ができるなど、障害者や高齢者に配慮された誰もが使いやすいタクシー車両で、一般のタクシー料金で利用が出来ます。

(裏面へつづく)



## Dr. 江頭真紀子氏による 「とっておきのお話」

好評につき「とっておきのお話」を公益財団法人健和会 健和会京町病院の医師であり、「さわやか」の名譽顧問でもある江頭真紀子先生に執筆していただきましてご紹介いたします。

### ひらめの刺身

公益財団法人健和会 健和会京町病院  
医師 江頭 真紀子

私は小学校四年生。秋だったか冬だったか、吹き降りが激しい嵐のような夜でした。

父親の帰りが遅く、なんとはなく不安に寝そびれて、いつになく遅くまでテレビを見ていたのです。もの悲しい音楽が流れ、「日本の素顔 奇病のかげに」というそのドキュメンタリー番組は始まりました。タイトルバックに一人の老人の横顔がシルエットで写り、コッ

(表面よりつづき)

また同日にウエルとばた三階の大ホールで『第十六回北九州市障害者芸術祭』みんなの夢が響く瞬間(とき)、輝くところ〜』が行われました。

北九州市障害者芸術祭は、障害のある方の芸術文化活動を通じて、市民の皆様の障害への理解を深め、心のバリアフリーを広げること

プの水を口元に運ぼうとするのですが、ひどく手が震えてしきりと水がこぼれるのです。これが、水俣病に広がった番組だったのでした。酔っ払いのようにふらつく足、視野狭窄などの症状が語られたことを、異様によく覚えています。そして、「水俣の浜辺では、猫がしばしば狂い死にをするのです」……私はその後、「日本の素顔」のテーマ音楽を

聴くと、もがきまわる猫の映像を思い出し、テレビのある部屋から飛び出してふとんをひっつかぶってしまおうとした。

とこころでその番組、こんなふう語りが入ったように思います。

「水俣の人々は貧しいので魚ばかり食べた。母親たちは自分ばかりあまり食べずに子供たちに食べさせた。それが子供が多く発病し、母親に比較的発病が少なかった理由と思われる」

子供が多く発病し母親たちが症状が軽かったのは、胎児に水銀が濃縮されてしまったからなのです。その事実がわかったのはもう少しあとになってからでした。ともあれ「人々は貧しいの

は自分だけのものでは

ない」をテーマにした人権講演会がありました。

その他に、国内外の賞を受賞した紀平凱成(きひらかいせい)さんの東京二〇二〇パラリンピック開会式楽曲の演奏や北九州消防音楽隊の演奏、歌、ダンスのバリアフリーステージなどがありました。

また、歌手で俳優の堀ちえみさんによる「自分の命



で魚ばかり食べた」というのを私は疑問も持たずに聞きました。物流が今ほど発達していない当時、東京の魚はまずかったです。煮つけも焼き魚も子供だから嫌いでした。刺身もたまには食べましたが、マグロかハマチかイカしかないので

九州に来てから魚のおいしいのにおどろきました。「ひらめが刺身になるんですか!」

「さばの刺身なんて大丈夫なんでしょうか」

私はそんなことを言っていて、グルメの先生に笑われました。その先生のおごりで、活魚で有名な小料理屋で感激しながらひらめの刺身を食べていたら、隣に座っていた若い女性が、

「生意気と思われるかも知れませんが、私は下関の漁師の家に生まれたので、もつとおいしい魚を食べて育つ

たんです」

そう、釣ったばかりの魚はもつとおいしいにちがいありません。私は「日本の素顔」の製作者の考えがいに気がつきました。水俣の人々は貧しいから魚しか食べられなかったのではない、魚がおいしいから食べたのです。

「水俣の人たちは貧しいが、豊かで新鮮な魚をたっぷり食べる、ささやかな権利をもっていたのである……一本釣りは朝五時ごろから夕チウオ釣りに出かけ、八時ごろ帰って、一番大きなのを刺身にして一ぱいやる。午後一時ごろからイイダコ釣りに行き、三時ごろに帰って、これを酢ダコにしてまた食べる……といったふう

に楽しみながら生計を立てていた。」  
原田正純「水俣病」(岩波新書)  
胎児性水俣病の解明に取り組んだ原田正純先生も、水俣病患者の魂の訴えをルポした石牟礼道子さんも、彼女の共同作者の渡辺京二さんも亡くなってしまいました。

でも関連の訴訟は、国が異議をとなえたためまだ続いていないのです。水俣病はまだ解決に至っていないのです。